

職業実践専門課程の基本情報について

| 学校名 | | 設置認可年月日 | | 校長名 | | 所在地 | | | | | | | | | | | |
|--------------|--|---------------------------|-------|--------------------------|--|--|------|--|--|--------|----|------|------|---------|---|-----|-----|
| 日本航空大学校 北海道 | | 昭和62年12月11日 | | 梅澤 忠弘 | | 〒066-0051 北海道千歳市泉沢1007番地95 (電話) 0123-28-1155 | | | | | | | | | | | |
| 設置者名 | | 設立認可年月日 | | 代表者名 | | 所在地 | | | | | | | | | | | |
| 学校法人 日本航空学園 | | 昭和35年4月13日 | | 梅澤 重雄 | | 〒400-0108 山梨県甲斐市宇津谷445番地 (電話) 0551-28-3355 | | | | | | | | | | | |
| 分野 | 認定課程名 | 認定学科名 | | | 専門士 | 高度専門士 | | | | | | | | | | | |
| 工業 | 専門課程 | 航空整備科 二等航空整備士コース | | | 平成6年文部科学省 告示第84号 | — | | | | | | | | | | | |
| 学科の目的 | 「航空従事者」としての業務に必要な航空機の知識、知見、技術について習得させると共に、航空機の整備経験を通し、航空従事者としての資質を養うことを目的とする。 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 認定年月日 | 平成30年2月27日 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 修業年限 | 昼夜 | 全課程の修了に必要な 総授業時数又は総単位数 | 講義 | 演習 | 実習 | 実験 | 実技 | | | | | | | | | | |
| 3 | 昼間 | 3118 | 1343 | | 1755 | | 単位時間 | | | | | | | | | | |
| 生徒総定員 | 生徒実員 | 留学生数(生徒実員の内) | 専任教員数 | 兼任教員数 | 総教員数 | | | | | | | | | | | | |
| 318人の内60人 | 60 | 2 | 25名 | 1名 | 25名 | | | | | | | | | | | | |
| 学期制度 | ■前期:4月1日～9月30日 ■後期:10月1日～翌3月31日 | | | 成績評価 | ■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 出欠、期末考査、課題の総合評価で50点以上が合格 | | | | | | | | | | | | |
| 長期休み | ■夏季:7月22日～8月15日 ■冬季:12月22日～1月11日 ■学年末:3月12日～3月31日 | | | 卒業・進級 条件 | 所定の就業年限在籍し、所定の単位数を取得した場合に進級、卒業判定 | | | | | | | | | | | | |
| 学修支援等 | ■クラス担任制: 有 ■個別相談・指導等の対応 欠席者への指導対応として欠席した時数の補講実施。 担任による就職指導面談を実施 | | | 課外活動 | ■課外活動の種類 学友会、寮役員による学生自治組織 ボランティア活動 ■サークル活動: 有 | | | | | | | | | | | | |
| 就職等の 状況※2 | ■主な就職先、業界等(令和3年度卒業生) JALエンジニアリング ANAラインメンテナンステクニクス AN Aベースメンテナンステクニクス エアドゥ 日本貨物航空 ス ターフライヤー ビーチアビエーション 三菱重工業 川崎重 工業 IHI ■就職指導内容 就職希望企業が学生にとって総合的に適性であるか等を教員間で 検討し、入社試験対策(筆記試験・面接試験)を実施 ■卒業生数 : 29 人 ■就職希望者数 : 29 人 ■就職者数 : 29 人 ■就職率 : 100 % ■卒業者に占める就職者の割合 : 100 % ■その他 ・進学者数: 0人 (令和3年度卒業者に関する令和4年5月1日時点の情報) | | | 主な学修成果 (資格・検定等) ※3 | ■国家資格・検定/その他・民間検定等 (令和3年度卒業者に関する令和4年5月1日時点の情報) <table border="1"> <thead> <tr> <th>資格・検定名</th> <th>種別</th> <th>受験者数</th> <th>合格者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>二等航空整備士</td> <td>②</td> <td>29人</td> <td>27人</td> </tr> </tbody> </table> ※種別の欄には、各資格・検定について、以下の①～③のいずれかに該当する か記載する。 ①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの ③その他(民間検定等) ■自由記述欄 | | | | | 資格・検定名 | 種別 | 受験者数 | 合格者数 | 二等航空整備士 | ② | 29人 | 27人 |
| 資格・検定名 | 種別 | 受験者数 | 合格者数 | | | | | | | | | | | | | | |
| 二等航空整備士 | ② | 29人 | 27人 | | | | | | | | | | | | | | |
| 中途退学 の現状 | ■中途退学者 10名 令和3年4月1日時点において、在学者 251名(令和3年4月1日入学者を含む) 令和4年3月31日時点において、在学者 241名(令和4年3月31日卒業生を含む) ■中途退学の主な理由 学校生活への不適合(体調不良等) 進路変更 ■中退防止・中退者支援のための取組 担任・養護教諭の面談。外部カウンセラーによるカウンセリングの実施。 | | | ■中退率 | 4.0% | | | | | | | | | | | | |
| 経済的支援 制度 | ■学校独自の奨学金・授業料等減免制度: 有 有資格者特待制度(実用英語検定・TOEIC) ジュニアマイスター入学金免除制度 ■専門実践教育訓練給付: 非給付対象 | | | | | | | | | | | | | | | | |

| | |
|------------------------|---|
| 第三者による 学校評価 | <p>■民間の評価機関等から第三者評価：有 学校関係者評価委員会(全日本空輸株式会社、JALエンジニアリング株式会社等) (受審)令和3年9月15日 (評価)良好</p> |
| 当該学科の ホームページ URL | <p>http://www.jaa-tech.jp/</p> |

(留意事項)

1. 公表年月日(※1)

最新の公表年月日です。なお、認定課程においては、認定後1か月以内に本様式を公表するとともに、認定の翌年度以降、毎年度7月末を基準日として最新の情報を反映した内容を公表することが求められています。初回認定の場合は、認定を受けた日以降の日付を記入し、前回公表年月日は空欄としてください

2. 就職等の状況(※2)

「就職率」及び「卒業者に占める就職者の割合」については、「文部科学省における専修学校卒業生の「就職率」の取扱いについて(通知)(25文科生第596号)」に留意し、それぞれ、「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」又は「学校基本調査」における定義に従います。

(1)「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」における「就職率」の定義について

①「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除いたものをいいます。

②「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者を含みません。

③「就職者」とは、正規の職員(雇用契約期間が1年以上の非正規の職員として就職した者を含む)として最終的に就職した者(企業等から採用通知などが出された者)をいいます。

※「就職(内定)状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等とします。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除きます。

(2)「学校基本調査」における「卒業者に占める就職者の割合」の定義について

①「卒業者に占める就職者の割合」とは、全卒業者数のうち就職者総数の占める割合をいいます。

②「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいいます。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしません(就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う)。

(3)上記のほか、「就職者数(関連分野)」は、「学校基本調査」における「関連分野に就職した者」を記載します。また、「その他」の欄は、関連分野へのアルバイト者数や進学状況等について記載します。

3. 主な学修成果(※3)

認定課程において取得目標とする資格・検定等状況について記載するものです。①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの、②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの、③その他(民間検定等)の種別区分とともに、名称、受験者数及び合格者数を記載します。自由記述欄には、各認定学科における代表的な学修成果(例えば、認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等)について記載します。